

科目名	児童家庭福祉						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	前期			
担当者名	坂井 芳浩	関連する資格	保育士資格 必修 社会福祉主事任用資格 必修				
授業概要 子ども家庭福祉の理念、歴史的展開や最近の動向、あるいは子ども家庭福祉の法体系や実施体制等の理解を深めていくとともに、担当教員の実体験や事例を考察することにより、現実的な子ども家庭福祉観を温め、保育士としての専門性を高める。							
到達目標 ・テキストを使いながら、子どもや家庭の福祉領域に係る知識を習得する。 ・児童福祉法や子どもの権利条約等の資料を通して、理論や専門用語を学ぶ。 ・関連する DVD や新聞記事を見ながら、養護と教育の一体的な感性を養う。						成績評価方法 定期試験、授業中のレポート、受講態度及び意欲（出席カードを介した意見・質問含む）による総合評価	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他 (出席カード)	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○	○	30
プレゼンテーション		○	○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) 特別講義 DVD から見る「子ども家庭福祉 Part 1」 ～児童養護施設のドキュメント映像から学ぶ①							
2) 特別講義 DVD から深める「子ども家庭福祉 Part 2」 ～児童養護施設のドキュメント映像から学ぶ②					グループワーク プレゼンテーション		
3) 子どもと家庭を取り巻く今日の状況（1） ～少子化と核家族化、子どもの貧困							
4) 子どもと家庭を取り巻く今日の状況（2） ～児童虐待と DV							

5) 子ども家庭福祉とは ～子ども家庭福祉の考え方、子どもの権利	グループワーク
6) 子ども家庭福祉のあゆみとこれからの課題（1） ～明治期まで、大正期から昭和戦前期まで、 昭和戦後期から高度経済成長期まで	
7) 子ども家庭福祉のあゆみとこれからの課題（2） ～諸外国のあゆみ、これからの課題	
8) 子ども家庭福祉に関する法制度と実施機関（1） ～関係する法	
9) 子ども家庭福祉に関する法制度と実施機関（2） ～関係する機関と専門職の役割	
10) 特別講義 新聞記事から見る「子ども家庭福祉 Part 3」 ～「こうのとりのゆりかご」から学ぶ	グループワーク 小レポート
11) 保育サービスと地域子育て支援 ～保育サービスの現状、保育士の役割、保育施策の動向	
12) 社会的養護とは何か（1） ～社会的養護とは、担う児童福祉機関、里親	
13) 社会的養護とは何か（2） ～社会的養護の課題	
14) ひとり親家庭への支援 ～背景と生活実態、支援の現状と課題	
15) 特別講義 まとめ「子ども家庭福祉 Part 4」 ～子ども家庭福祉を振り返る	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、事前にテキストの該当単元を熟読して授業に臨んでください。 ・ 2)、5)、10)のグループワークのテーマや課題に沿って、事前に各人の考えや意見をまとめて授業に臨んでください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「知識を生かし実力をつける 子ども家庭福祉」 流石智子 監修、浦田雅夫 編著（保育出版社） その他「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」	社会福祉
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定のテキストは事前に購入してください。 ・ 積極的な発表や質問に心掛けてください（出席カードを介しての意見・質問を含む）。 ・ 他の学生に迷惑を掛ける行為をする者は退席願います（私語等も含む）。 <p>【オフィスアワー】 坂井 芳浩 genkijuku2002@ezweb.ne.jp</p>	